

# 平成23年度 女性のチャレンジ賞 受賞者

(各賞ごと 50音順・敬称略)

## 女性のチャレンジ賞 受賞者 (全4件)

受賞者名	所属	都道府県	活動内容
せいぼうりょくきゆうえん 性暴力救援センター・ おおさか 大阪(SACHICO)	代表 加藤 治子	大阪府	<u>全国初の性暴力被害者への24時間・総合的支援センター</u> 性暴力救援センター・大阪(SACHICO)は、全国で初めての24時間体制で性暴力被害者を総合的に支援するためのワンストップセンターとして、2010年4月発足した。医療面、心理面、司法面などで支援を行っており、誰にも相談できずに孤立しやすい性暴力被害者に寄り添い、被害者が回復して自立できるように必要な支援を提供している。また、被害者の希望にもとづき、加害者の捜査に協力したり、採取した証拠を提供したりすることにより、結果として、被疑者検挙に繋がるなど、警察捜査にも協力している。
ほあし 帆定 キヨ	吉野食品有限会社代 表取締役社長	大分県	<u>郷土料理「鶏めし」を全国に販売 地域の味の伝承と活性化に貢献</u> 大分市吉野地区の婦人会は、米消費拡大運動の一環として、「鶏めし」作りに取り組み、昭和63年には、帆足キヨ氏が中心となり、女性12名で「吉野鶏めし保存会」を設立した。大分の伝承料理を伝えるなどの食育活動を実践する一方で、食材と調理法へのこだわりから口コミでファンが広がり、製造販売部門を有限会社として立ち上げて、東京や大阪など大分県外にも販路を拡大、生産量を飛躍的に伸ばしている。また、社員の9割以上を吉野地区の住民が占め、地域の雇用と活性化にも大きな役割を果たすなど、農村女性による起業のロールモデルとなっている。
むなかた えみこ 宗片 恵美子	特定非営利活動法人 イコールネット仙台代 表理事	宮城県	<u>女性の視点から防災に尽力。被災女性支援のため「せんたくネット」等の取組を進める。</u> 平成15年に男女共同参画の推進を目的としたNPO法人イコールネット仙台を設立。平成20年には、震災被災者へのインタビューや仙台市内の女性へのアンケートを行い、「災害時における女性のニーズ調査」の報告書をまとめ、女性の視点からの課題を浮き彫りにした。また、東日本大震災に当たり、洗濯や干し場所に困る避難所女性のため、「せんたくネット」を組織し、無料で洗濯を引き受けるとともに、その機会に悩み相談やニーズ把握を行っている。また、「震災体験を語るサロン」を実施し、心のケアにつなげるなど、被災女性支援のため、多様な活動を積極的に行っている。
やました ゆみ 山下 由美	JAえひめ南女性部津 島支部長	愛媛県	<u>農業経営、六次産業起業、若手女性ネットワークづくり、国際貢献などで幅広く大活躍</u> 非農家出身の山下由美氏は、農家の女性として何か出来ることがないかと考え、除草剤、化学肥料は一切使わない農法に取り組み、今では全生産量を直接消費者に販売している。また、経営改善計画を作成して、自ら認定農業者となるなど、農村地域に根強い固定的な役割分担意識にとらわれない挑戦を続けている。さらに、JAえひめ南女性部内の若妻グループ結成、中国四国地区初のフレッシュミズ交流会の開催、企業グループの結成、手作りの米粉パン工房の運営など、組織活動でも活躍するとともに、JICA短期専門家としてタイに派遣されるなど、国際貢献にも努める。

## 女性のチャレンジ支援賞 受賞者（全1件）

受賞団体名	代表者氏名	都道府県	活動内容
こなんこういきしょうぼうきょく 湖南広域消防局	消防局長 いわさ たくみ 岩佐 卓實	滋賀県	<p><u>女性消防士の採用・活躍を積極的に支援</u></p> <p>湖南広域消防局は、全国で初めて女性隊員だけの人命救出チームを結成しており、また、災害現場において、男女共に特殊業務に取り組むことができるよう、組織として積極的に支援している。特に、女性患者への対応において、デリカシーの問題等から女性救急救命士による処置が重要であり、採用を徐々に増やしている。さらに、平成13年以降の庁舎建設では、消防署に女性専用エリアを設け、更衣、トイレ、入浴、仮眠などの機能施設を充実させ、女性消防士が働きやすい勤務環境の整備を進めている。</p>

## 女性のチャレンジ賞特別部門賞（地域を変える女性の力）受賞者（全3件）

受賞者名	所属	都道府県	活動内容
きおり まさこ 木織 雅子	特定非営利活動法人 工房おのみち帆布理 事長	広島県	<p><u>伝統産品「尾道帆布」を使い小物を製造。新たな地域資源を見出し、活性化に貢献。</u></p> <p>広島県中小企業家同友会尾道支部女性部で行った尾道市の伝統産品「尾道帆布」の工場見学を契機に、帆布の可能性に気づき、小物の製造販売活動を開始。10年を経過した現在では、商店街に店舗兼工房兼展示スペースを構えるまでになっている。また、休耕田等を活用して帆布の材料の綿栽培を行う「しまなみコットンロードプロジェクト」を進めるとともに、果樹の枝や鉄粉などこれまで捨てられていた地域の資源を染色材料として商品化に成功している。しまなみ海道沿線の企業や団体と連携して、活動の幅を広げ、地域の活性化や雇用の創出に貢献している。</p>
特定非営利活動法人 きびのこうぼう 吉備野工房ちみち	代表 加藤 せい子	岡山県	<p><u>地域の歴史文化・魅力を再発見・PRする事業を、女性の視点をいかにしながら実施</u></p> <p>多くの遺跡が残る歴史文化の豊かな岡山県総社市で、古墳、お寺、グルメなどの地域資源を題材に、歩きながら地域の人々が講師となって体験プログラムを行う「みちくさ小道」事業を実施。プログラム名やパンフレットデザイン等で、女性ならではの視点を生かし、見慣れた風景も新鮮にうつるような工夫をこらすとともに、子どもにとっても住みやすいまちづくりを目指している。活動を通じて、地元の人々も地域の魅力を再発見し行動を始めるとともに、地域の特産品づくりやサービスに携わっている人の活動の連携を進めることで、総社市全体の活性化、元気づくりにつながっている。</p>
よこた じゅんこ 横田 純子	特定非営利活動法人 素材広場理事長	福島県	<p><u>地域の「素材」や「魅力」を見出し、人々をつなげることで、地域経済の活性化</u></p> <p>特定非営利活動法人「素材広場」を立ち上げ、「地産地消」の理念の下、地元福島の農産物や工芸品等の生産者・生産文化の情報を発信し、また、生産者と旅館・販売所等との提携を進めることで、観光関係事業の発展と福島の地域価値の再発見に貢献している。また、活動を通じて、幅広い地域・年代の人たちを結ぶネットワークの中心的な役割を担っている。さらに、東日本大震災の支援にも地元企業とともにいち早く取り組み、多数のおにぎりをつくり、県内の避難所へ送り届けるなど、被災者だけでなく、支援にあたる県民をも勇気づける行動を率先して行っている。</p>